

# 美瑛岳(2052m) 登山計画

平成23年8月11日

月 日	場 所	時刻	所要時間	備 考				
8月 11日(日)	札幌市内発	08:30	6-00	吹上温泉白銀荘後、宿舎から登山口までの道路事情や所要時間を確認し、宿泊地に入る				
	吹上温泉白銀荘着	14:30	151km					
8月 13日(火)	場 所	時 刻	歩行時間	歩行合計	所要合計	備 考		
	吹上温泉白銀荘発	06:00	1-00	3-05	3-15	<p><b>吹上温泉 白銀荘 0167-45-4126</b></p> <p>頂上の南西面に、荒々しくえぐられた古い火口がある。白金温泉から仰げば、小さく尖った優美な山だが、十勝岳から見た姿は、火口壁を正面から見るだけに強烈な迫力ある。山名は美瑛川の語源ピイエツ「油ぎった川」からきているもので、硫黄で川が濁っていたためにそう呼ばれた。</p> <p>登山口の吹上温泉「白銀荘」から十勝岳方面へ、途中十勝岳爆発記念碑や九条武子の歌碑を経て雲ノ平分岐(60分)、この標識を美瑛岳方向に向かう、雲ノ平は標識がないが、ここは十勝岳の北側の中腹に広がる緩やかな斜面で展望は開けている。</p> <p>雲ノ平を過ぎると、鞍部のポンピ沢まで標高差100mくらい下る、この地点からは鞍部のポンピ沢や美瑛岳が望め、頂上までの登山ルートの内容がつかむことができる。</p> <p>下って行くとポンピ沢の徒渉地点の少し手前にポンピ沢支流の雪渓が現れる。雪がないと崖のような形状になっていて、兩岸の取り付き点にはロープが設置してある。雪があるときは手前側から簡単に雪の上に乗ることができ、下流側の下って段差のある沢底に降りるよりも上流側に進み雪渓から対岸に直接渡った方が安全、対岸の地質はもろく滑りやすいので要注意</p> <p>雪渓を過ぎると10分ほどでポンピ沢に着く、ここで対岸に渡るのではなく、沢を下流側に少し下ると、取り付きの登山道が見えてくる。このポンピ沢から尾根に出るまでがこのコースの頑張りところで、樹林帯の急坂を登って行く。振り返ると十勝岳方向が望め、下には登って来たルートが確認できる。</p> <p>尾根直下は岩場の急坂になり、キツイ尾根に上がると一気に展望が広がる、ここで美瑛岳への標識を右に尾根を登って行く。美瑛岳の頂上までのルートがよくわかり、見た目の斜度も大したことのないように感じ、気が緩みがちになるが、ここから先も思ったよりキツイ、頂上を見上げると鋭い岩峰群を巻くように登山道がつけられており危険な箇所はなく頂上へ、頂上からは360度の大展望が素晴らしい。</p>		
	泥流分岐着	06:00						
	泥流分岐発	06:00						
	雲ノ平分岐着	07:00	1-10	3-35	4-10			
	雲ノ平分岐発	07:05						
	ポンピ沢着	08:15	0-55	(1-30)	3-00			
	ポンピ沢発	08:20						
	美瑛岳分岐西側着	09:15	1-30	8-35	10-00			
	美瑛岳分岐西側発	09:25					09:25	1-00
	美瑛富士分岐着	10:25					0-50	
	美瑛富士分岐発	10:35						
	美瑛富士頂上着	11:25					0-30	
	美瑛富士頂上発	11:40						
	美瑛富士分岐着	12:10					1-00	
	美瑛富士分岐発	12:15						
	美瑛岳分岐東側着	13:15					0-15	
	美瑛岳分岐東側発	13:20						
	美瑛岳頂上着	13:35					10:55	0-50
	美瑛岳頂上発	14:00					11:20	
	美瑛岳分岐西側着	14:50					12:10	1-00
	美瑛岳分岐西側発	15:00					12:20	
	ポンピ沢着							2-40
ポンピ沢発								
雲ノ平分岐着	16:00	13:20				0-50		
雲ノ平分岐発	16:10	13:30						
泥流分岐着								
泥流分岐発								
吹上温泉白銀荘着	17:00	14:20						
合 計			8-35	10-00				
注								
美瑛富士をカットすると <b>2h-40m 短縮</b> する								
8月 17日(土)	吹上温泉白銀荘発	09:00	6-00	151km				
	道の駅 昼食	13:20						
	札幌市内着	15:00						

日出 04:29  
日没 18:41